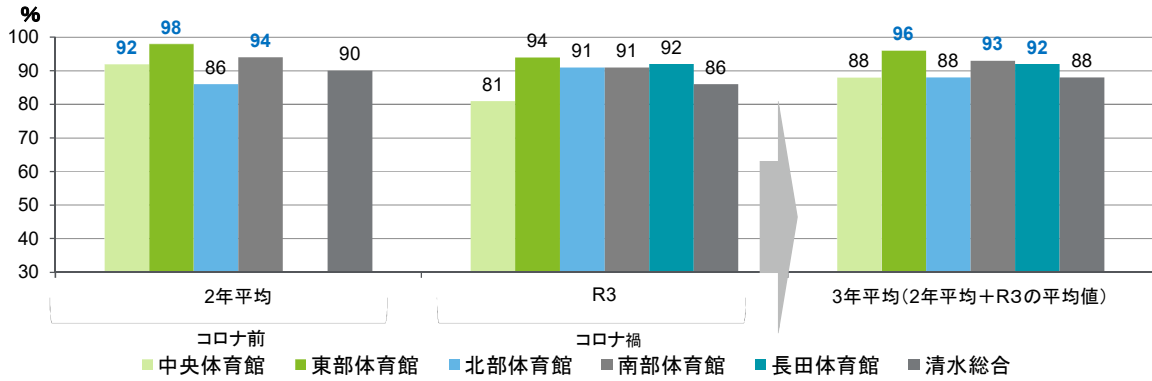


市内体育館の稼働率

市内体育館の稼働率推移 市内体育館の利用状況は、令和3年のコロナ禍を考慮しても高稼働な状況にある。



高い稼働率実績のトップ3を青字で表記

施設名	H29	H30	2年平均(※1)	R3(※2)	3年平均
中央体育館	90%	94%	③92%	81%	88%
東部体育館	99%	96%	①98%	94%	①96%
北部体育館	86%	85%	86%	91%	88%
南部体育館	94%	47% 10月~3月改修により閉鎖	②94%	91%	②93%
長田体育館	50% 10月~3月改修により閉鎖	46% 4月~9月改修により閉鎖	—	92%	③92%
清水総合	90%	68% 12月~2月改修により閉鎖	90%	86%	88%

(※1) 年度内に施設改修をした場合は、その期間の稼働率が0となり正しい稼働率が算出されない。そのため、平均値ではなく、単年度の数値を使用

(※2) 2年平均値にR3の数値を加え、平均値を求めた数値

出典：公益財団法人静岡市スポーツ協会の報告等

静岡市スポーツ協会ヒアリング内容

<平日9:00~15:00の体育館利用状況>

- 市スポーツ協会が市民向けの教室を開催している。参加者は高齢者層が多く、親子を対象とした教室もある。
- 問合せがないため、この時間帯の教室以外での市民利用の需要がどの程度あるかは把握していない。

<平日15:00~17:00の体育館利用状況>

- 市スポーツ協会の教室が少ない時間帯であり、ある程度の市民利用の需要がある。

<平日17:00以降の体育館利用状況>

- 卓球協会やバスケットボール協会など、各団体が主催する教室が行われる。
- 清水総合体育館は、夜間の教室が少なく、主にアマチュア団体が使っている。他の体育館も含め、平日の夜は市民利用の需要が多く、使いたいという声はある。
- 令和5年度から三保体育館が廃止となる影響がある可能性がある。

<土日祝日の体育館利用状況>

- 各種の大会でほぼ埋まっており、枠に入らずに希望どおり開催できない大会もある。
- 中央体育館は、Bリーグの試合が開催されるようになり、リーグ期間中は、もともと行っていた大会の開催ができていない。

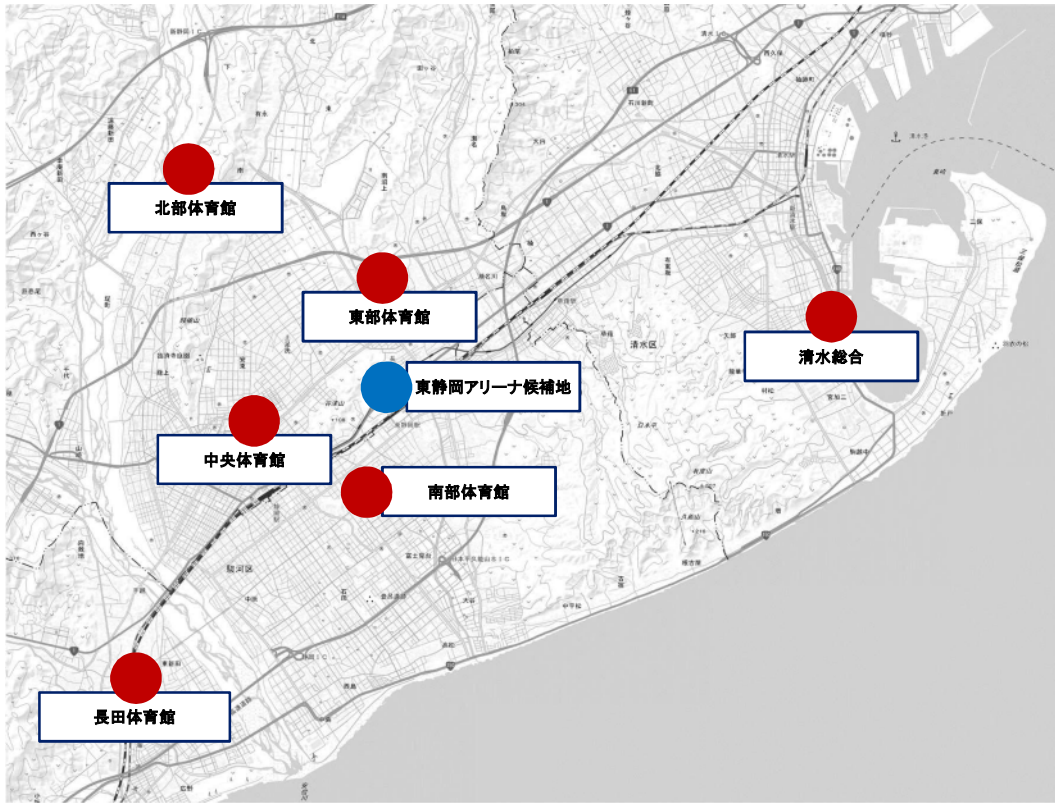


<事務局まとめ>

- 平日昼間は高齢者層や親子の利用、平日夜は市民利用が見込まれる。
- 土日祝日は、アリーナがBリーグの試合の開催場所となることも想定されるため、他の体育館でアマチュアスポーツの大会を開催できる可能性がある。

市内体育館の位置関係

市内体育館の大まかなプロット図



出典: 電子地形図(国土地理院)を加工して作成)